

労働条件を上げ
魅力ある航空に！

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1057(40-2) 2025 年 10 月 31 日

2025 年末闘争

ANA・JAL 好業績の上期決算

両社ともに売上高は上期として過去最高を更新

2025 年末闘争では、年末一時金や諸要求の前進をめざし、労使交渉が本格化しています。航空連は、11 月 4 日を回答指定日としています。

こうしたなか、10 月 30 日に ANA と JAL の第 2 四半期決算（4-9 月）が発表されました（右表参照）。両社ともに、好調なインバウンド需要や国内線のレジャー需要に支えられ、上期としては過去最高の売上高を更新しました。

ANAとJALの上期決算比較				
ANA			JAL	
2024 年度	2025 年度	単位：億円	2025 年度	2024 年度
10,995	11,904	売上高	9,839	9,018
3,901	4,061	国際旅客	3,677	3,405
3,462	3,668	国内旅客	3,021	2,804
1,036	1,446	貨物郵便	909	797
754	705	LCC	506	453
1,842	2,024	その他収入	1,722	1,557
9,912	10,927	営業費用	8,908	8,243
1,083	976	営業利益	931	775
1,123	951	経常利益/EBIT	1,097	856
807	760	純利益	676	498
決算書を基に作成。ANA の貨物郵便は NCA 含む。				

ANA は、NCA（日本貨物航空）の連結効果もあり、通期業績予想を上方修正しました。連結売上高は当初計画より 1100 億円増の 2 兆 4800 億円、営業利益は 150 億円増の 2000 億円、当期純利益を 230 億の 1450 億円としています。

一方、JAL は通期業績見通しの変更はありませんが、第 3 四半期も、「旅客需要は堅調に推移する」との見通しを示しました。あわせて、200 億円規模の自社株買いを実施し、株主還元を強化する計画です。

人への投資、まずは一時金の引き上げを！

好業績は、職場で一人ひとりの努力と頑張りの積み重ねの結果です。企業の利益を、年末一時金や職場環境の改善に回すことは、人材の確保や定着につながるだけでなく、安全で安定した運航体制の維持にも欠かせません。

しかし現状は、利益の多くが株主配当や自社株買い、内部留保に回る一方で、働く者の生活改善や労働環境の改善には十分に反映されていません。

JAL では、夏・冬一時金を各 2 カ月とし、上期決算で EBIT1400 億円以上が見通せる場合、年末一時金に 0.5 カ月加算としています。しかし、この仕組みは生活改善や職場の頑張りに見合ったものとは言えず、乖離があります。引き続き要求の前進をめざしがんばりましょう。

以上